



www.philips.com/welcome

JA	ユーザーマニュアル	1
	カスタマサポートと保証	23
	トラブルシューティング & FAQ	27

PHILIPS

目次

1. 重要	1
1.1 安全のための注意事項とメンテナンス	1
1.2 表記の説明	2
1.3 製品と梱包材料の廃棄	3
2. ディスプレイのセットアップ	4
2.1 取り付け	4
2.2 ディスプレイの操作	7
2.3 VESA取り付け用にベースアセンブリの取りはずし	11
2.4 MultiView	11
3. 画像の最適化	14
3.1 SmartImage	14
3.2 SmartContrast	15
3.3 HDR	16
4. 技術仕様	17
4.1 解像度とプリセットモード	20
5. 電源管理	22
6. カスタマサポートと保証	23
6.1 Philipsフラットパネルディスプレイの画素欠陥ポリシー	23
6.2 カスタマサポートと保証	26
7. トラブルシューティング& FAQ	27
7.1 トラブルシューティング	27
7.2 一般FAQ	28
7.3 Multiview FAQ	31

1. 重要

この電子ユーザーズガイドは、Philips ディスプレイを使用するユーザーを対象にしています。ディスプレイを使用する前に、本ユーザーマニュアルをよくお読みください。ディスプレイの操作に関する重要な情報と注意が記載されています。

Philips 保証は、その操作指示に従い製品を使用目的に沿って適切に取り扱い、購入日、販売店名および製品のモデルと製造番号が記載されたオリジナルインボイスまたは現金領収書を提示した場合に適用されます。

1.1 安全のための注意事項とメンテナンス

⚠ 警告

本書で指定していない制御、調整または手順を使用すると、感電、電氣的障害、機械的災害につながる可能性があります。

コンピュータのディスプレイを接続し使用しているときは、これらの指示を読んで従ってください。

取り扱い

- ディスプレイを直射日光やきわめて明るい光に晒したりせず、他の熱源から離れた位置に設置してください。これらの環境に長時間晒されると、ディスプレイが変色したり損傷する結果を招きます。
- 通気口に落下する可能性のある物体を取り除き、ディスプレイの電子機器の適切な冷却を妨げないようにしてください。
- キャビネットの通気口を塞がないでください。
- ディスプレイの位置を定めているとき、電源プラグとコンセントに容易に手が届くことを確認してください。
- 電源ケーブルやDC電源コードを取り外すことでディスプレイの電源をオフにする場合、6秒待ってから電源ケーブルやDC電源コードを取り付けて通常操作を行ってください。

- 必ず、本製品に同梱されている電源コードを使用してください。電源コードが入っていない場合、カスタマサポートにお問い合わせください。(顧客ケア消費者情報センターにお問い合わせください)
- 操作中、ディスプレイに強い振動を与えたり、衝撃を加えないでください。
- 操作または輸送中、ディスプレイを強く打ったり落としたりしないでください。

メンテナンス

- ディスプレイを損傷の可能性から保護するために、LCDパネルに過剰な圧力をかけないでください。ディスプレイを動かすときは、フレームをつかんで持ち上げてください。またLCDパネルに手や指を置いてディスプレイを持ち上げないでください。
- 長時間使用しない場合は、ディスプレイのプラグを抜いてください。
- 清掃時にはディスプレイのプラグを抜き、汚れのふき取りには柔らかい布をご使用ください。落ちにくい場合は少量の水をしめらせた布でふき取ってください。ただし、アルコール、アンモニアベースの液体などの有機溶剤を使用してディスプレイを洗浄することは絶対におやめください。
- 感電や装置の永久的な損傷の原因となるため、ディスプレイを埃、雨、水、湿気の多い環境に晒さないでください。
- ディスプレイが濡れた場合は、できるだけ速やかに乾いた布で拭いてください。
- ディスプレイに異物や水が入ったら、直ちに電源をオフにし、電源コードを抜いてください。異物や水を取り除き、カスタマサポートにご連絡ください。
- 熱、直射日光、極端な低温に晒される場所でディスプレイを保管したり、使用したりしないでください。
- ディスプレイの最高のパフォーマンスを維持し長く使用するために、次の温度および湿度範囲の環境でディスプレイを使用してください。
 - 温度：0～40°C
 - 湿度：20～80% RH

焼き付き / ゴースト像に関する重要な情報

- ディスプレイの前を離れるときは、常にスクリーンセーバーをオンにしてください。静止コンテンツを表示している場合、ディスプレイで定期的にスクリーンリフレッシュアプリケーションを起動してください。長時間静止画像を表示すると、画面に「後イメージ」または「ゴースト像」として知られる「焼き付き」が表示される原因となります。
- 「焼き付き」、「後イメージ」または「ゴースト像」はLCDパネル技術ではよく知られた現象です。ほとんどの場合、電源をオフにすると「焼き付き」、「後イメージ」、「ゴースト像」は時間とともに徐々に消えます。

⚠ 警告

スクリーンセーバーやスクリーンリフレッシュアプリケーションをアクティブにしないと、「焼き付き」、「後イメージ」、「ゴースト像」症状はひどくなり、消えることも修理することもできなくなります。これらに起因する故障は保証には含まれません。

修理

- ケースカバーは専門の修理技術者以外は絶対に開けないでください。
- マニュアルが必要な場合、最寄りのサービスセンターにお問い合わせください。（「カスタマケアセンター」のページを参照してください）
- 輸送情報については、「技術仕様」を参照してください。
- 直射日光下の車内トランクにディスプレイを放置しないでください。

ⓘ 注

ディスプレイが正常に作動しない場合、または本書に記載された手順が分からない場合、サービス技術者にお問い合わせください。

1.2 表記の説明

次のサブセクションでは、本書で使用する表記法について説明します。

注、注意、警告

本書を通して、テキストのブロックにはアイコンが付き、太字またはイタリック体で印刷されています。これらのブロックには注、注意、警告が含まれます。次のように使用されます。

ⓘ 注

このアイコンは重要な情報とヒントを示し、コンピュータシステムをもっと有効に活用する助けとなるものです。

⚠ 注意

このアイコンは、ハードウェアの損傷の可能性またはデータの損失を避ける方法に関する情報を示します。

⚠ 警告

このアイコンは負傷する可能性を示し、その問題を避ける方法を示します。

警告には代わりの形式で表示され、アイコンが付かない場合もあります。このような場合、警告を具体的に提示することが関連する規制当局から義務づけられています。

ⓘ 注

アース接続は必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。

又、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを切り離してから行ってください。

1.3 製品と梱包材料の廃棄

廃電気電子機器 – WEEE



This marking on the product or on its packaging illustrates that, under European Directive 2012/19/EU governing used electrical and electronic appliances, this product may not be disposed of with normal household waste. You are responsible for disposal of this equipment through a designated waste electrical and electronic equipment collection. To determine the locations for dropping off such waste electrical and electronic, contact your local government office, the waste disposal organization that serves your household or the store at which you purchased the product.

Your new Display contains materials that can be recycled and reused. Specialized companies can recycle your product to increase the amount of reusable materials and to minimize the amount to be disposed of.

All redundant packing material has been omitted. We have done our utmost to make the packaging easily separable into mono materials.

Please find out about the local regulations on how to dispose of your old Display and packing from your sales representative.

Taking back/Recycling Information for Customers

Philips establishes technically and economically viable objectives to optimize the environmental performance of the organization's product, service and activities.

From the planning, design and production stages, Philips emphasizes the importance of making products that can easily be recycled. At Philips, end-of-life management primarily entails participation in national take-back initiatives and recycling programs whenever possible, preferably in cooperation with competitors, which recycle all materials (products and related packaging material) in accordance with all Environmental Laws and taking back program with the contractor company.

Your display is manufactured with high quality materials and components which can be recycled and reused.

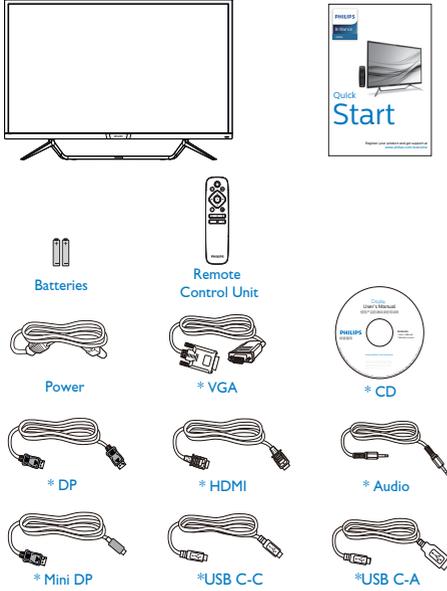
To learn more about our recycling program please visit

<http://www.philips.com/a-w/about/sustainability.html>

2. ディスプレイのセットアップ

2.1 取り付け

1 パッケージに含まれるもの



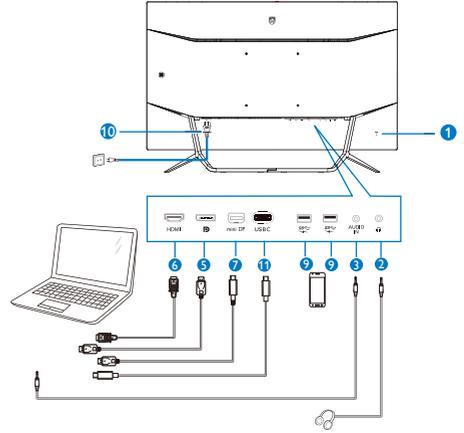
*地域によって異なります。

注

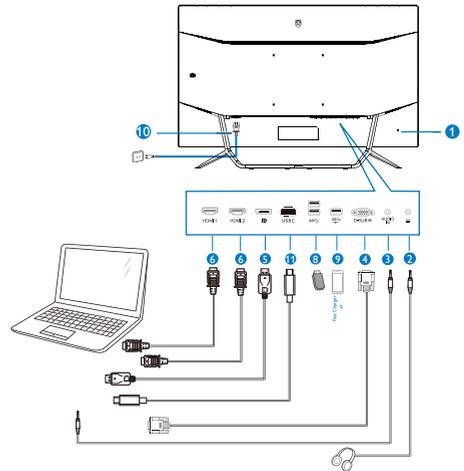
販売する国・地域により付属されるケーブルが異なる場合がございます。ケーブル付属は別紙のケーブル付属リストをご参照ください。

2 PCに接続する

436M6VBPA

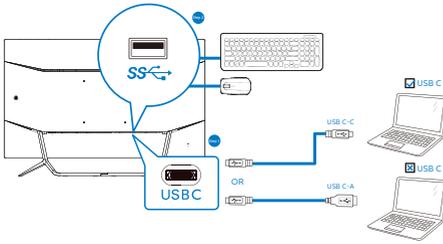


436M6VBRA



2. ディスプレイのセットアップ

USB hub



- 1 Kensington ロック
- 2 イヤホンジャック
- 3 オーディオ入力
- 4 VGA 入力
- 5 DP 入力
- 6 HDMI 入力
- 7 Mini DP アップストリーム
- 8 USB ダウンストリーム
- 9 USB 充電器
- 10 AC 電源入力
- 11 USB Type-C 入力

PC に接続する

1. 電源コードをディスプレイ背面にしっかり接続します。
2. コンピュータの電源をオフにして、電源ケーブルを抜きます。
3. ディスプレイ信号ケーブルを、コンピュータ背面のビデオコネクタに接続します。
4. コンピュータとディスプレイの電源コードをコンセントに差し込みます。
5. コンピュータとディスプレイの電源をオンにします。ディスプレイに画像が表示されたら、接続は完了です。

注

無線式のマウス、キーボード、ヘッドホンなど、USB 2.4Ghz デバイスは USB 3.0 デバイスの高速信号により干渉を受け、その結果、無線送信の効率性が低下する可能性があります。その場合、次の方法で干渉を抑えてください。

- USB2.0レシーバーをUSB3.0接続ポートから離す。
- 標準のUSB拡張ケーブルまたはUSBハブを利用し、無線レシーバーとUSB3.0接続ポートの間の距離を増やす。

USB ハブ

国際的なエネルギー標準に準拠するために、このディスプレイのUSBハブ/ポートはスリープモードと電源オフモードの間、無効になります。

この状態のとき、接続されているUSBデバイスは動作しません。

USB機能をずっと「オン」の状態にするには、OSDメニューに移動し、「USB待機モード」を選択し、これを「オン」状態に切り替えます。

2. ディスプレイのセットアップ

充電用USB

このディスプレイには USB ポートがあり、USB 充電など、標準的な電力を出力できます (パワーアイコン  で識別可能)。そのポートからスマートフォンを充電したり、外付け HDD に電力を供給したりできます。この機能を利用するには、ディスプレイの電源を常に入れておく必要があります。

一部の Philips ディスプレイでは、“スリープ”モードに入ると、デバイスの給電・充電が停止することがあります (白のパワーLED が点滅します)。その場合、OSD メニューに入り、“USB Standby Mode” を選択し、“オン” に切り替えてください (初期設定はオフです)。これで、モニターがスリープモードに入っても、USB 給電・充電機能が維持されます。

 Audio	Volume	On	✓
	H Position	Off	
 Color	Temperature		
	Gamma		
	Color		
 Language	Resolution Notification		
 OSD Settings	USB		
	USB Charging		
 Setup	Low Input Lag		
	Reset		
	Information		

注

電源スイッチでモニターの電源を切った場合、すべての USB ポートがオフになります。

- 3 リモコンには 1.5V AAA 電池 2 個で電力を供給します。

電池の取り付け・取り換え方法:

カバーを押しながらスライドして開きます。

電池を収納する場所には (+) と (-) の指示があります。それに合わせて電池を入れます。

カバーを戻します。



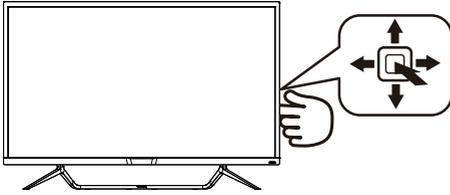
注

電池の使用方法を間違えると、漏れや爆発が発生することがあります。次の指示に従ってください。

- 収納する場所の (+) 記号と (-) 記号と “AAA” 電池の (+) 記号と (-) 記号が一致するように電池を入れます。
- 異なる種類の電池の併用はお止めください。
- 新しい電池と古い電池の併用もお止めください。電池の耐用年数が短くなったり、漏れが発生したりします。
- 漏れを防ぐために、使い切った電池はすぐに取り外してください。電池から液体が漏れた場合、それに触れないでください。皮膚を怪我する恐れがあります。
- リモコンを長期間使用しない場合、電池を取り外してください。

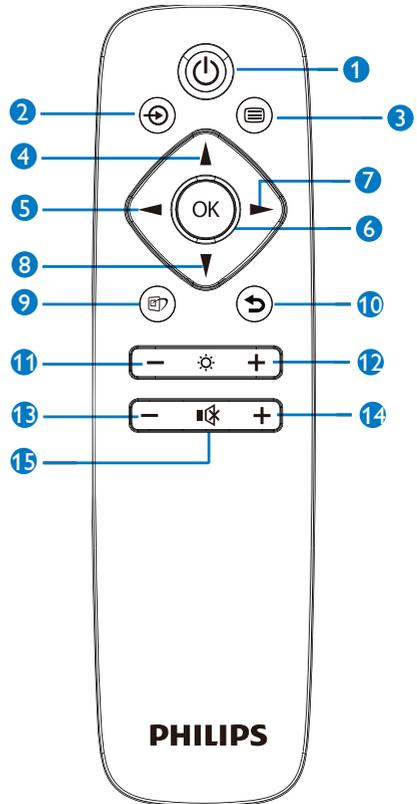
2.2 ディスプレイの操作

1 コントロールボタンの説明



1		押して、電源をオンに切り替えます。3 秒以上長押しして、電源をオフに切り替えます。
2		OSDメニューにアクセスします。OSD調整を確認します。
3		スピーカーの音量を調整します。 OSDメニューを調整します。
4		信号入力ソースを変更します。 OSDメニューを調整します。
5		SmartImage. 複数の選択があります。FPS、レーシング、RTS、ゲーマー 1、ゲーマー 2、LowBlue モード、SmartUniformity(スマートユニフォーミティ)、Off(オフ)。 前の OSD レベルに戻ります。

2 リモコンボタンの説明



2. ディスプレイのセットアップ

1		これを押して電源を入れたり、切ったりします。
2		信号の入力源を変更します。
3		OSD メニューが表示されます。
4		OSD メニューを調整します / 値を上げます。
5		前の OSD レベルに戻ります。
6	OK	OSD 調整を確定します。
7		OSD メニューが表示されます。OSD 調整を確定します。
8		OSD メニューを調整します / 値を下げます。
9		SmartImage。複数の選択肢があります。FPS、レーシング、FTS、ゲーマー 1、ゲーマー 2、LowBlue モード、SmartUniformity、オフ。
10		前の OSD レベルに戻ります。
11	-	明るさを下げます。
12	+	明るさを上げます。
13	-	音量を下げます。
14	+	音量を上げます。
15		ミュート

3 EasyLink (CEC)(436M6VBPA)

概要

HDMI は 1 つのケーブルでデバイスからモニターに画像信号と音声信号の両方を運びます。すっきりした配線が可能になります。信号を圧縮せずに送るため、送信元から画面まで最高の品質で届けられます。HDMI 対応モニターと Philips EasyLink (CEC) を組み合わせると、接続されている複数のデバイスの各種機能を 1 つのリモコンで操作できます。すっきりした配線で最高の音と映像をお楽しみください。

EasyLink (CEC) を有効にする方法

	Audio	Resolution Notification	On	<input checked="" type="checkbox"/>
		USB	Off	<input type="checkbox"/>
	Color	USB Standby Mode		
		Low Input Lag		
	Language	CEC		
		Reset		
	OSD Settings	Information		
	Setup			

1. HDMI-CEC対応デバイスをHDMIで接続します。
2. HDMI-CEC対応デバイスを適切に構成します。
3. 右に切り替えてOSDに入り、このディスプレイのEasyLink(CEC)をオンにします。
4. [Setup] (設定) > [CEC] の順に選択します。
5. [On] (オン) を選択し、選択内容を確定します。
6. これで、同じリモコンを利用し、お使いのデバイスとこのディスプレイの両方のオン/オフを切り替えることができます。

注記

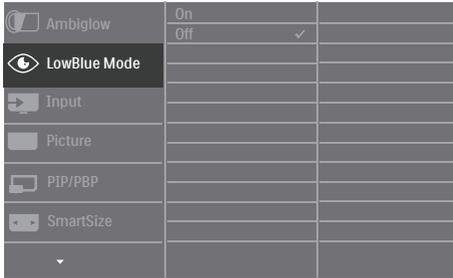
1. EasyLink対応デバイスをオンにし、ソースとして選択する必要があります。
2. Philipsは、あらゆるHDMI CECデバイスとの100%の相互運用性を保証しません。

2. ディスプレイのセットアップ

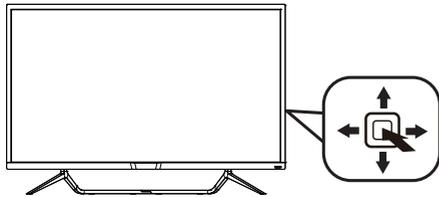
4 オンスクリーンディスプレイの説明

オンスクリーンディスプレイ (OSD) とは？

オンスクリーンディスプレイ (OSD) はすべての Philips LCD ディスプレイに装備されています。これにより、ユーザーはオンスクリーンの指示ウィンドウを通して直接画面パフォーマンスを調整したりディスプレイの機能を選択したりできます。オンスクリーンディスプレイインターフェースは、以下のように表示されます。



コントロールキーの基本および簡単な指示



Philips ディスプレイの OSD メニューにアクセスするには、ディスプレイベゼルの背面にあるシングルボタンを使用するだけです。シングルボタンはジョイスティックのように操作します。カーソルを移動するには、ボタンを四方向に動かすだけです。ボタンを押して、希望のオプションを選択します。

OSD メニュー

以下は、オンスクリーンディスプレイのメニュー一覧です。後でさまざまな調整を行いたいときに、こちらを参照してください。

436M6VBPA

Main menu	Sub menu	
Ambiglow	Off	
	Ambiglow	Bright, Brighter, Brightest
LowBlue Mode	Auto Mode	Bright, Brighter, Brightest
	User Define	White, Red, Rose, Magenta, Violet, Blue, Azure, Cyan, Aquamarine, Green, Chartrreuse, Yellow, Orange
	On	1,2,3,4
Input	Off	
	HDMI 2.0	
Picture	DisplayPort	
	Mini DP	
	USB C	
	HDR	Normal, VESA HDR 1000, J.HDR, Off
Picture	Brightness	0-100
	Contrast	0-100
	Sharpness	0-100
	SmartResponse	Off, Fast, Faster, Fastest
	SmartContrast	On, Off
	SmartFrame	On, Off
		Size (1,2,3,4,5,6,7)
		Brightness (0-100)
		Contrast (0-100)
		H. position
		V. position
		Gamma 1.8, 2.0, 2.2, 2.4, 2.6
		Pixel Orbiting
		Over Scan
	PIP/PBP	Off
PIP/PBP Mode		Off, PIP, PBP
PIP/PBP Input		HDMI 2.0, DisplayPort, Mini DP, USB C
PIP Size		Small, Middle, Large
PIP Position		Top-Right, Top-Left, Bottom-Right, Bottom-Left
Swap		
SmartSize	Panel Size	17" (5:4), 19" (5:4), 19"W (16:10), 22"W (16:10), 18.5"W (16:9), 19.5"W (16:9), 20"W (16:9), 21.5"W (16:9), 23"W (16:9), 24"W (16:9), 27"W (16:9), 43"W (16:9)
	1:1	
	Aspect	
Audio	Volume	0-100
	Stand-Alone	On, Off
	Mute	On, Off
	Audio Source	Audio In, HDMI 2.0, DisplayPort, Mini DP, USB C
	DTS	On, Off
	EQ	100Hz, 330Hz, 1KHz, 3.3KHz, 10KHz
	Mobile Phone	On, Off
Color	Color Temperature	Native, 5000K, 6500K, 7500K, 8200K, 9300K, 11500K
	sRGB	
	User Define	Red: 0-100 Green: 0-100 Blue: 0-100
Language	English, Deutsch, Español, Ελληνική, Français, Italiano, Magyar, Nederlands, Português, Português do Brasil, Polski, Pycckий, Svenska, Suomi, Türkçe, Čeština, Укрїнська, 简体中文, 繁體中文, 日本語, 한국어	
OSD Settings	Horizontal	0-100
	Vertical	0-100
	Transparency	Off, 1, 2, 3, 4
	OSD Time Out	5, 10, 20, 30, 60
	Resolution Notification	On, Off
Setup	USB	USB 3.0, USB 2.0
	USB Charging	On, Off
	Low Input Lag	On, Off
	CEC	On, Off
	Reset	Yes, No
	Information	

2. ディスプレイのセットアップ

43M6VBRA

Main menu	Sub menu		
Ambiglow	Off		
	Ambiglow	Bright, Brighter, Brightest	
	Auto Mode	Bright, Brighter, Brightest	
	User Define	White, Red,Rose,Magenta,Violet,Blue,Azure,Cyan,Aquamarine, Green,Chartreuse,Yellow,Orange	
LowBlue Mode	On	1,2,3,4	
	Off		
Input	VGA		
	HDMI 2.0		
	2HDMI 2.0		
	DisplayPort USB C		
Picture	HDR	Normal ,VESA HDR 400 ,Off	
	Brightness	0-100	
	Contrast	0-100	
	Sharpness	0-100	
	SmartResponse	Off, Fast, Faster, Fastest	
	SmartContrast	On, Off	
	SmartFrame	On, Off	
		Size (1,2,3,4,5,6,7)	
		Brightness(0-100)	
		Contrast(0-100)	
		H. position	
		V. position	
		Gamma 1,8, 2.0, 2.2, 2.4, 2.6	
		Pixel Orbiting	On, Off
		Over Scan	On, Off
PIP/PBP	PIP/PBP Mode	Off, PIP, PBP 2Win, PBP 4Win	
	Sub Win1 Input	VGA, 1 HDMI 2.0, 2 HDMI 2.0, DisplayPort, USB C	
	Sub Win2 Input	VGA, 1 HDMI 2.0, 2 HDMI 2.0, DisplayPort, USB C	
	Sub Win3 Input	VGA, 1 HDMI 2.0, 2 HDMI 2.0, DisplayPort, USB C	
	Sub Win1 Input	Small, Middle, Large	
	Sub Win1 Input	Top-Right, Top-Left, Bottom-Right, Bottom-Left	
	Swap		
SmartSize	Panel Size	17" (5-4), 19" (5-4), 19"W (16-10), 22"W (16-10), 18.5"W (16-9), 19.5"W (16-9), 20"W (16-9), 21.5"W (16-9), 23"W (16-9), 24"W (16-9), 27"W (16-9), 43"W (16-9)	
	Aspect		
Audio	Volume	0-100	
	Stand-Alone	On, Off	
	Mute	On, Off	
	Audio Source	Audio In,HDMI 1, HDMI 2, DisplayPort, USB C	
	DTS Sound	Standard/Classical/Rock/Live/Theater/Off	
	TruVolume HD	On, Off	
	EQ	200Hz, 500Hz, 2.5KHz, 7KHz, 10KHz	
	Mobile Phone	On, Off	
Color	Color Temperature	Native,5000K,6500K,7500K,8200K,9300K,11500K	
	sRGB		
	User Define	Red: 0-100 Green: 0-100 Blue: 0-100	
Language		English, Deutsch, Español, Ελληνικά, Français, Italiano, Mānyā, Nederlands, Português, Português do Brasil, Polski, Русский, Svenska, Suomi, Türkçe, Čeština, Українська, 简体中文, 繁體中文, 日本語, 한국어	
OSD Settings	Horizontal	0-100	
	Vertical	0-100	
	Transparency	Off, 1, 2, 3, 4	
	OSD Time Out	5, 10, 20, 30, 60	
	Auto		
Setup	H.Position	0-100	
	V.Position	0-100	
	Phase	0-100	
	Clock	0-100	
	Resolution Notification	On, Off	
	USB	USB 3.0, USB 2.0	
	USB Charging	On, Off	
	Low Input Lag	On, Off	
	Reset	Yes, No	
	Information		

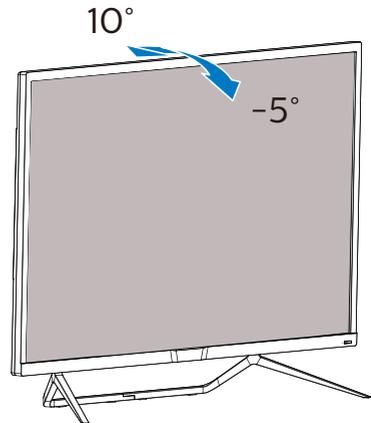
4 解像度通知

このディスプレイは、そのネイティブ解像度 3840 × 2160 @ 60 Hz で最適なパフォーマンスを発揮するように設計されています。ディスプレイが異なる解像度で動作しているとき、画面にアラートが表示されます。3840 × 2160 @ 60 Hz での使用が、最適な結果が得られます。

解像度アラートの表示は、OSD (オンスクリーンディスプレイ) メニューの Setup(セットアップ) からオフに切り替えることができます。

5 向度調整

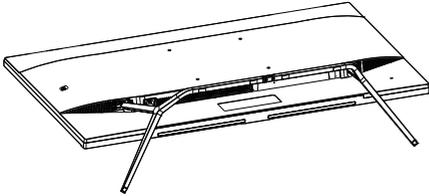
チルト



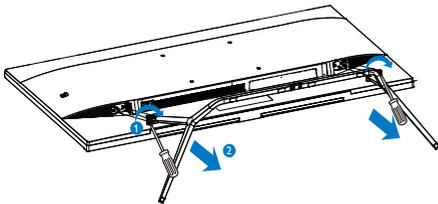
2.3 VESA取り付け用にベースアセンブリの取りはずし

破損や負傷を防ぐため、ディスプレイベースの取り外しを始める前に下記の指示に従ってください。

1. ディスプレイ面を下にして、滑らかな面に置きます。画面にひっかき傷が付いたり損傷したりしないように注意してください。

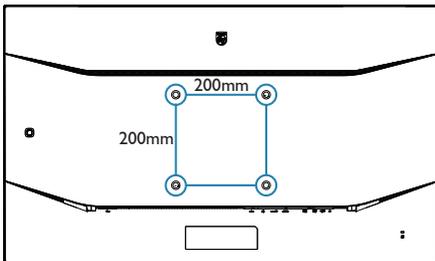


2. 留めネジを緩め、次にディスプレイから土台から取り外します。

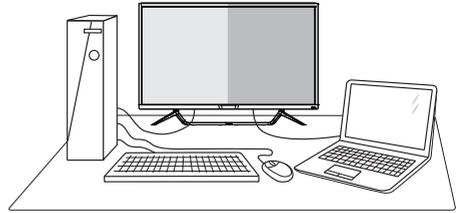


注

このディスプレイは200mm x 200mm VESA準拠の取り付けインターフェースを受け入れます。



2.4 MultiView



1 MultiView とは？

Multiview により、アクティブな様々な種類の接続が可能になり、デスクトップ PC やノート PC のような複数のデバイスを同時に並べて使用できるようになるため、複雑なマルチタスク作業がやりやすくなります。

2 必要な理由とは？

超高解像度 Philips MultiView ディスプレイでは、職場でも家庭でも便利な接続性を享受できます。このディスプレイを使用することで、1つの画面で複数のコンテンツソースを簡単にお楽しみになれます。例：小さなウィンドウでオーディオをオンにしたままライブニュースビデオを見ながら、最新のブログに取り組んだり、ウルトラブックから Excel ファイルを編集しながら、会社のイントラネットにログインしてデスクトップからファイルにアクセスしたりする事が可能になります。

3 OSDメニューで MultiView を有効にするにはどうすればいいのですか？

436M6VBAR

Ambiglow	PIP/PBP Mode	Off	✓
LowBlue Mode	Sub Win1 Input	PIP	
	Sub Win2 Input	PBP 2Win	
	Sub Win3 Input	PBP 4Win	
Input	PIP Size		
	PIP Position		
Picture	Swap		
PIP/PBP			
SmartSize			

1. OSDメニュー画面に入るには、右に動かします。

2. ディスプレイのセットアップ

- 上または下に動かして、メインメニュー **[PIP / PBP]** を選択し、次に右に動かして確定します。
- 上または下に動かして、**[PIP / PBP Mode]** (**PIP / PBPモード**) を選択し、次に右に動かします。
- 上または下に動かして、**[PIP]**、**[PBP 2Win]** または **[PBP 4Win]** を選択し、次に右に動かします。
- これで逆行し、**[サブWin* 入力]**、**[PIP サイズ]**、**[PIP 位置]**、**[スワップ]** を設定できます。
- 右に動かして選択を確定します。

436M6VBPA

Ambiglow	PIP/PBP Mode	Off	✓
	PIP/PBP Input	PIP	
LowBlue Mode	PIP Size	PBP	
	PIP Position		
Input	Swap		
Picture			
PIP/PBP			
SmartSize			

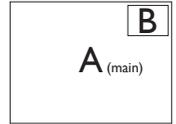
- OSDメニュー画面に入るには、右に動かします。
- 上または下に動かして、メインメニュー **[PIP / PBP]** を選択し、次に右に動かして確定します。
- 上または下に動かして、**[PIP / PBP Mode]** (**PIP / PBPモード**) を選択し、次に右に動かします。
- 上または下に動かして、**[PIP]**、**[PBP]** を選択し、次に右に動かします。
- これで逆行し、**[PIP/PBP 入力]**、**[PIP サイズ]**、**[PIP 位置]**、**[スワップ]** を設定できます。
- 右に動かして選択を確定します。

4 OSDメニューの MultiView

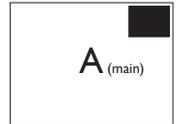
- 436M6VBRA PIP / PBP モード:
MultiView の 4 つのモード: [オフ]、[PIP]、[PBP 2Win]、[PBP 4Win].436M6VBPA PIP / PBP モード: MultiView の 3 つのモード: [オフ]、[PIP]、[PBP]。

[PIP]: ピクチャインピクチャ

別の信号ソースのサブウィンドウを並べて開きます。

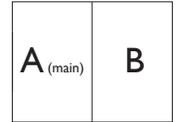


サブソースが検出されない場合:



[PBP 2Win] (436M6VBRA) / [PBP] (436M6VBPA): ピクチャバイピクチャ

別の信号ソースのサブウィンドウを並べて開きます。



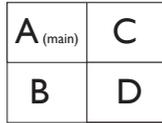
サブソースが検出されない場合。



2. ディスプレイのセットアップ

[PBP 4Win] (436M6VBRA) : ピクチャバイピクチャ

他の信号ソースの3つのサブウィンドウを開きます。



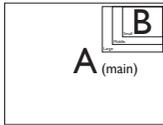
サブソースが検出されない場合。



注

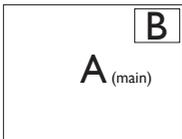
PBP モードに入っているとき、画面の上下に黒いストライプが表示されると正しい縦横比になっています。

PIP Size(PIP サイズ) : PIP がアクティブになっているとき、次の3つのサブウィンドウサイズを選択できます。[Small] (小)、[Middle] (中)、[Large] (大)。

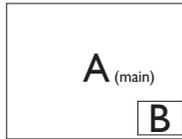


PIP Position (PIP位置) : PIPがアクティブになっているとき、次の4つのサブウィンドウ位置を選択できます。

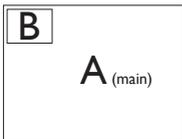
右上



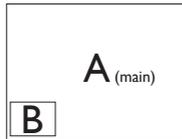
右下



左上

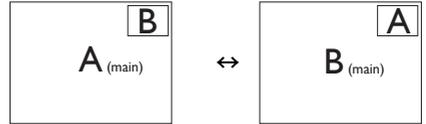


左下

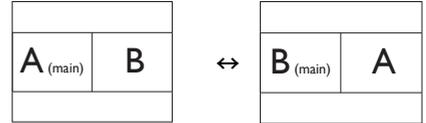


Swap(スワップ): ディスプレイでスワップされたメインピクチャソースとサブピクチャソース。

[PIP] モードの A と B ソースのスワップ:



[PBP] モードの A と B ソースのスワップ:



Off(オフ): MultiView機能を停止します。

注

1. スワップ機能を実行すると、ビデオとそのオーディオソースが同時にスワップされません。

3. 画像の最適化

3.1 SmartImage

1 SmartImage とは？

SmartImage はさまざまな種類のコンテンツ用のディスプレイを最適化するようにプリセットされており、輝度、コントラスト、色、シャープネスをリアルタイムでダイナミックに調整します。テキストアプリケーションで作業しているか、画像を表示しているか、ビデオを見ているかに関わらず、Philips SmartImage は最適化された最高のディスプレイパフォーマンスを発揮します。

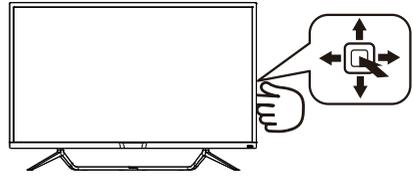
2 必要な理由とは？

あなたはお気に入りのタイプのコンテンツをすべて最適化された状態で表示するディスプレイを必要としています。SmartImage ソフトウェアは輝度、コントラスト、色、シャープネスをリアルタイムでダイナミックに調整し、あなたのディスプレイの視聴体験を向上します。

3 これは、どのように作動するのですか？

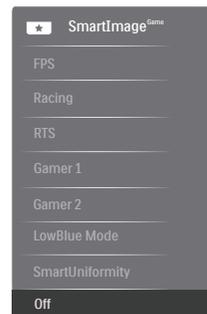
SmartImage は画面に表示されたコンテンツを分析する Philips 独自の最先端技術です。選択したシナリオに基づき、SmartImage は画像のコントラスト、彩度、シャープネスをダイナミックに強化して表示されるコンテンツを強化します。すべては1つのボタンを押すだけでリアルタイムで行われます。

4 SmartImage はどのようにして有効にするのですか？



1. 左に動かし、画面ディスプレイで SmartImage を起動します。
2. 上または下に動かし、FPS、レーシング、RTS、ゲーマー1、ゲーマー2、LowBlueモード、SmartUniformity (スマートユニフォーミティ)、Off (オフ) を切り替えます。
3. 画面ディスプレイの SmartImage が5秒間画面に表示されます。または左に動かし確認することもできます。

次の7つのモードを選択できます：FPS、レーシング、RTS、ゲーマー1、ゲーマー2、LowBlue モード、SmartUniformity (スマートユニフォーミティ)、Off (オフ)。



- **FPS:** FPS (ファーストパーソンシューター) ゲームをプレーする場合。暗いシーンの黒色レベルの詳細が改善されました。
- **レーシング:** レーシングゲームをプレーする場合。最高速の応答時間と高い彩度を実現しました。
- **RTS:** RTS (リアルタイムストラテジー) ゲームをプレーする場合、ユーザ

一選択箇所をハイライト表示できるようになりました（SmartFrameを介して）。ハイライト表示箇所に対して、画質を調整することができます。

- **ゲーマー1:**ユーザー環境設定は、ゲーマー1として保存されます。
- **ゲーマー2:**ユーザー環境設定は、ゲーマー2として保存されます。
- **LowBlueモード:** LowBlueモードは目に優しく、生産性を上げます。研究によると、紫外線が目に良くないのと同様に、LEDディスプレイの短波ブルーライトは目にダメージを与え、時間の経過と共に視力に影響を与えることです。健康のために開発されたPhilips LowBlueモード設定ではスマートソフトウェア技術を利用し、有害な短波ブルーライトを軽減します。
- **SmartUniformity(スマートユニフォーミティ):** 画面の異なる部分の輝度に違いがあるのは、LCDディスプレイでは一般的な現象です。典型的な均一性は約75-80%で測定されます。Philips SmartUniformity機能を有効にすることで、ディスプレイの均一性は95%以上に向上します。これは、より一貫性のある、真性の画像を生成します。
- **Off(オフ):** SmartImageで最適化はされません。

3.2 SmartContrast

1 SmartContrast とは？

表示されたコンテンツをダイナミックに分析したり、ディスプレイのコントラスト比を自動的に最適化して映像の明瞭さを最大限に高めたり、バックライトを強化することで、クリアでくっきりした、明るい画像を実現したり、バックライトを薄暗くすることで暗い背景で画像をクリアに表示したりする独特な技術です。

2 必要な理由は？

SmartContrast はコントラストをダイナミックに制御しバックライトを調整してクリアで、くっきりした、見やすいゲームとビデオ画像を実現したり、オフィス作業にはクリアで、読みやすいテキストを表示します。ディスプレイの消費電力を抑えることで、エネルギーコストを節約し、ディスプレイの寿命を延ばすことができます。

3 これは、どのように作動するのですか？

SmartContrast をアクティブにするとき、表示しているコンテンツをリアルタイムで分析して色を調整し、バックライト強度を制御します。この機能はビデオを表示したりゲームをプレーしているとき、コントラストをダイナミックに強化して素晴らしいエンタテインメント体験を体験できるようにします。

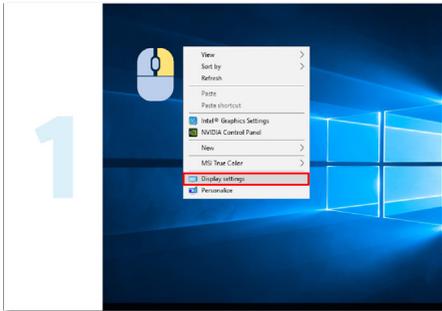
3.3 HDR

HDR10 形式の入力信号と互換性があります。

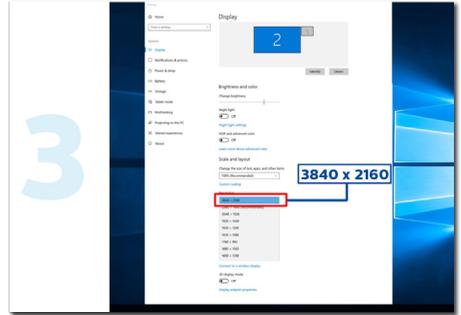
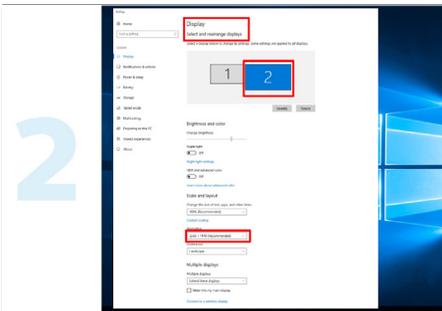
プレーヤーとコンテンツに互換性がある場合、ディスプレイは HDR 機能を自動的に有効にすることがあります。お使いのデバイスとコンテンツの互換性については、デバイスのメーカーとコンテンツのプロバイダーにお問い合わせください。自動有効化機能が不要であれば、HDR 機能に「オフ」を選択してください。

Windows 10 で HDR を設定する

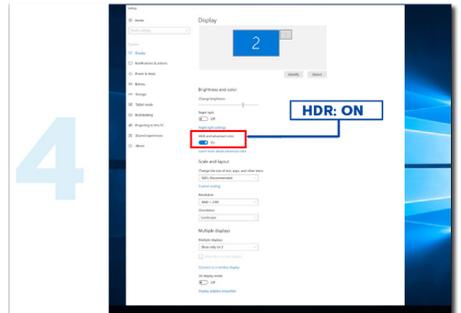
- マウスを右クリックし、“ディスプレイ設定”に入ります。



- ディスプレイの解像度を 3840 x 2160 に設定します。



- HDR をオンにします。その間、画面はほの暗くなります。



注

- Windows 10 V1709 (Fall Creators アップデート) 以降のバージョンが必要です。
- HDR で表示するとき、全画面設定が不可欠です。

4. 技術仕様

画像 / ディスプレイ	
ディスプレイパネルタイプ	MVA
バックライト	W-LED
パネルサイズ	42.51" (108 cm)
縦横比	16 : 9
SmartContrast(標準)	50,000,000 : 1
応答時間(標準)	8 ms (GtG)
SmartResponse(標準)	4 ms (GtG)
最適解像度	VGA : 1920 x 1080 @ 60Hz (436M6VBRA) HDMI/DisplayPort : 3840 x 2160 @ 60Hz
表示角度	178° (H) / 178° (V) @ C/R > 10
画像強調	SmartImage
表示色	1.07G
垂直リフレッシュレート	47-63Hz (VGA) 23-80Hz (HDMI/DisplayPort)
水平周波数	30-99KHz (VGA/HDMI) 30-160KHz (DisplayPort)
sRGB	あり
色域	あり
HDR	436M6VBRA: PC HDR400 認定 436M6VBPA: PC HDR1000 および UHDA 認定
入出力	
信号入力コネクタ	436M6VBRA: HDMI 2.0x2, DisplayPort1.4x1, D-SUBx1 436M6VBPA: HDMI 2.0x1, DisplayPort1.4x1, MiniDisplayPort1.4x1
USB	436M6VBRA: USB type-Cx1, USB3.0x3 (充電用が1つ) 436M6VBPA: USB type-Cx1, USB3.0x2 (充電用が2つ)
電力供給	USB C(最大 5V/3A、15W)
入力信号	436M6VBRA: セパレート同期、緑で同期
オーディオイン/アウト	PC のオーディオ入力とヘッドホン、DTS 対応
便宜	
内蔵スピーカー	7W x 2、DTS サウンド
MultiView	436M6VBRA: PIP (2 x デバイス)、PBP (4 x デバイス) 436M6VBPA: PIP (2 x デバイス)、PBP (2 x デバイス)
OSD 言語	英語、ドイツ語、スペイン語、ギリシャ語、フランス語、イタリア語、ハンガリー語、オランダ語、ポルトガル語、ブラジルポルトガル語、ポーランド語、ロシア語、スウェーデン語、フィンランド語、トルコ語、チェコ語、ウクライナ語、簡体字中国語、繁体字中国語、日本語、韓国語

4. 技術仕様

その他	VESA マウント (200x200 mm)、ケンジントンロック、アダプティブシンク、低入力ラグ、低ブルーモード、Ambiglow
プラグアンドプレイ互換性	DDC/CI、sRGB、Windows 10/8.1/8/7、Mac OSX

436M6VBRA

電源			
消費エネルギー	AC 入力電圧 100VAC、50Hz	AC 入力電圧 115VAC、60Hz	AC 入力電圧 230VAC、50Hz
通常操作	119.8 W (標準)	120.0 W (標準)	119.5 W (標準)
スリープ(スタンバイ)	0.5 W (標準) 未満	0.5 W (標準) 未満	0.5 W (標準) 未満
オフ	0.3 W (標準) 未満	0.3 W (標準) 未満	0.3 W (標準) 未満
熱放散 *	AC 入力電圧 100VAC、50Hz	AC 入力電圧 115VAC、60Hz	AC 入力電圧 230VAC、50Hz
通常操作	409.9 BTU/時 (標準)	409.6 BTU/時 (標準)	407.8 BTU/時 (標準)
スリープ(スタンバイ)	1.71 BTU/時 (標準)未満	1.71 BTU/時 (標準)未満	1.71 BTU/時 (標準)未満
オフ	1.02 BTU/時 (標準)未満	1.02 BTU/時 (標準)未満	1.02 BTU/時 (標準)未満
電源 LED インジケータ	オン：白、スタンバイ/スリープモード：白(点滅)		
電源	AC アダプタ、100-240VAC、50-60Hz		

436M6VBPA

電源			
消費エネルギー	AC 入力電圧 100VAC、50Hz	AC 入力電圧 115VAC、60Hz	AC 入力電圧 230VAC、50Hz
通常操作	161.9 W (標準)	162.0 W (標準)	162.1 W (標準)
スリープ(スタンバイ)	0.5 W (標準) 未満	0.5 W (標準) 未満	0.5 W (標準) 未満
オフ	0.5 W (標準) 未満	0.5 W (標準) 未満	0.5 W (標準) 未満
熱放散 *	AC 入力電圧 100VAC、50Hz	AC 入力電圧 115VAC、60Hz	AC 入力電圧 230VAC、50Hz
通常操作	552.6 BTU/時 (標準)	552.9 BTU/時 (標準)	553.2 BTU/時 (標準)
スリープ(スタンバイ)	1.71 BTU/時 (標準)未満	1.71 BTU/時 (標準)未満	1.71 BTU/時 (標準)未満
オフ	1.71 BTU/時 (標準)未満	1.71 BTU/時 (標準)未満	1.71 BTU/時 (標準)未満
電源 LED インジケータ	オン：白、スタンバイ/スリープモード：白(点滅)		
電源	AC アダプタ、100-240VAC、50-60Hz		

寸法	
製品（スタンド付き） （幅×高さ×奥行き）	976 x 661 x 264 mm
製品（スタンドなし） （幅×高さ×奥行き）	976 x 574 x 63 mm
製品（梱包付き） （幅×高さ×奥行き）	1090 x 764 x 338 mm
重量	
製品（スタンド付き）	436M6VBRA: 12,72 kg 436M6VBPA: 14,71 kg
製品（スタンドなし）	436M6VBRA: 11,97 kg 436M6VBPA: 13,96 kg
製品（梱包付き）	436M6VBRA: 18,84 kg 436M6VBPA: 20,72 kg
環境条件	
温度（操作時）	0°C ~ 40°C
相対湿度（操作時）	20% ~ 80%
気圧（操作時）	700 ~ 1060hPa
温度範囲（非操作時）	-20°C ~ 60°C
相対湿度（非操作時）	10% ~ 90%
気圧（非操作時）	500 ~ 1060hPa
環境およびエネルギー	
ROHS	あり
梱包	100% リサイクル可能
特定物質	100% PVC BFR を含まない筐体
適合規格	
規制認可	CCC、CECP、WEEE、PSE、VCCI、J-MOSS、BSMI、RCM、CE、FCC Doc、EAC、ETL、TUV ISO9241-307、PSB、KCC、E-standby、SASO、CB、China RoHS、UKRAINIAN、Kuwait KUCAS、ICES-003
キャビネット	
色	ブラック
仕上げ	光沢とテクスチャ

注

- このデータは事前の通知なしに変更することがあります。パンフレットの最新バージョンをダウンロードするには、www.philips.com/support にアクセスしてください。
- スマートな応答時間は、GtG または GtG (BW) テストによる最適値です。

4.1 解像度とプリセットモード

1 最大解像度

1920 x 1080 @ 60 Hz (アナログ入力)
3840 x 2160 @ 60 Hz (デジタル入力)

2 推奨解像度

3840 x 2160 @ 60 Hz (デジタル入力)

水平周波数 (kHz)	解像度	垂直周波数 (Hz)
31.47	720 x 400	70.09
31.47	640 x 480	59.94
35.00	640 x 480	66.67
37.86	640 x 480	72.81
37.50	640 x 480	75.00
37.88	800 x 600	60.32
46.88	800 x 600	75.00
48.36	1024 x 768	60.00
60.02	1024 x 768	75.03
44.77	1280x 720	59.86
63.89	1280 x 1024	60.02
79.98	1280 x 1024	75.03
55.94	1440 x 900	59.89
70.64	1440 x 900	74.98
65.29	1680 x 1050	59.95
67.50	1920 x 1080	60.00
67.50	3840 x 2160	30.00
135.00	3840 x 2160	60.00
133.29	1920x2160 PBP mode	59.99

3 ビデオタイミング

解像度	垂直周波数 (Hz)
640 x 480p	60Hz 4 : 3
720x 480p	60Hz 4 : 3
720 x 480p	60Hz 16 : 9
1280x 720p	60Hz
1920x 1080i	60Hz
1920x 1080p	60Hz
720 x 576p	50Hz 4 : 3
720 x 576p	50Hz 16 : 9
1280x 720p	50Hz
1920 x 1080i	50Hz
1920 x 1080p	50Hz
3840 x 2160p	50Hz
3840 x 2160p	60Hz

注

- ディスプレイは 3840 x 2160 @ 60Hz の解像度で最高の画像を表示します。最高の表示品質を得るには、この解像度推奨に従ってください。
推奨解像度

VGA : 1920 x 1080 @ 60Hz

HDMI 2.0 : 3840 x 2160 @ 60Hz

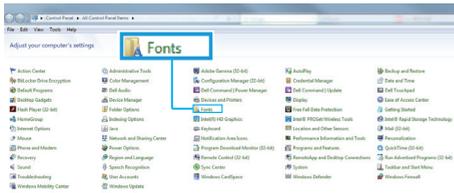
DP v1.1 : 3840 x 2160 @ 30Hz

DP v1.2 : 3840 x 2160 @ 60Hz

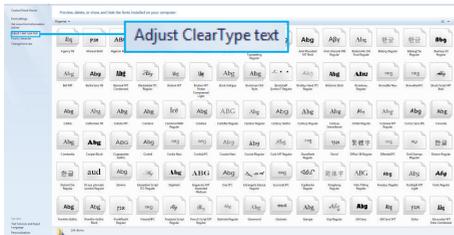
DP v1.4 : 3840 x 2160 @ 60Hz

2. ディスプレイのテキストが少し薄れている感じがする場合、次の手順でコンピューター / ノートパソコンのフォント設定を調整できます。

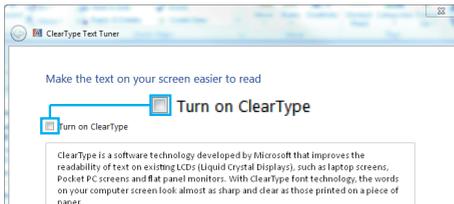
手順 1: コントロールパネル / すべてのコントロールパネルアイテム / フォント



手順 2: クリアタイプテキストを調整する



手順 3: 「クリアタイプ」の選択を解除する



5. 電源管理

PC に VESA DPM 準拠のディスプレイカードを取り付けているか、またはソフトウェアをインストールしている場合、モニタは使用していないときにその消費電力を自動的に抑えることができます。キーボード、マウスまたはその他の入力デバイスからの入力を検出されると、ディスプレイは自動的に「呼び起こされます」。次の表には、この自動省電力機能の電力消費と信号が示されています。

436M6VBRA

電源管理の定義					
VESA モード	ビデオ	水平同期	垂直同期	使用電力	LED 色
アクティブ	オン	あり	あり	120 W (標準) 180 W (最大)	白
スリープ (スタンバイ)	オフ	なし	なし	0.5 W (標準)	白 (点滅)

436M6VBPA

電源管理の定義					
VESA モード	ビデオ	水平同期	垂直同期	使用電力	LED 色
アクティブ	オン	あり	あり	162 W (標準) 318 W (最大)	白
スリープ (スタンバイ)	オフ	なし	なし	0.5 W (標準)	白 (点滅)

次のセットアップは、このディスプレイの消費電力を測定するために使用されます。

- ネーティブ解像度: 3840 x 2160
- コントラスト: 50%
- 輝度: 100%
- Color temperature (色温度): 6500k (完全な白パターンの場合)

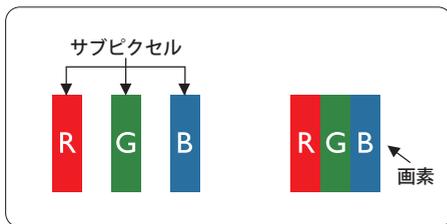
注

このデータは事前の通知なしに変更することがあります。

6. カスタマサポートと保証

6.1 Philipsフラットパネルディスプレイの画素欠陥ポリシー

Philips は最高品質の製品を提供するために懸命に努力しています。当社は、業界でもっとも進んだ製造プロセスと可能な限りもっとも厳しい品質管理を使用しています。しかしながら、フラットパネルディスプレイで使用される TFT ディ스플레이パネルの画素またはサブ画素に欠陥が生じるのはやむを得ない場合があります。すべてのパネルに画素欠陥がないことを保証できるメーカーはありませんが、Philips では保証期間中であれば、許容できない数の欠陥があるディスプレイを修理または交換する保証をしています。この通知はさまざまな種類の画素欠陥を説明し、それぞれの種類について受け入れられる欠陥レベルを定義するものです。保証期間中の修理または交換の資格を取得するには、TFT ディ스플레이パネルの画素欠陥数がこれらの受け入れられるレベルを超えている必要があります。例えば、ディスプレイのサブ画素の 0.0004% 以下の欠陥は許容されます。さらに、Philips は特定の種類または組み合わせの画素欠陥については、他社より顕著に高い品質基準を設けています。このポリシーは全世界で有効です。



画素とサブ画素

画素、または画像要素は赤、緑、青の原色の3つのサブ画素で構成されています。多くの画素が集まって画像を形成します。画素のすべてのサブ画素が明るいと、3つ

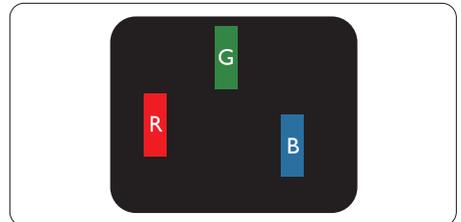
の色の付いたサブ画素が1つの白い画素として一緒に表示されます。すべての画素が暗くなると、3つの色の付いたサブ画素は1つの黒い画素として集まって表示されます。点灯するサブ画素と暗いサブ画素のその他の組み合わせは、他の色の1つの画素として表示されます。

画素欠陥の種類

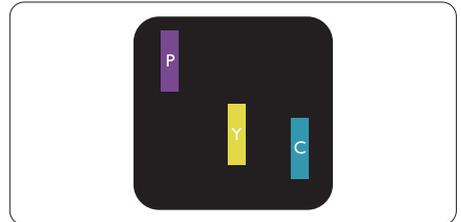
画素とサブ画素の欠陥は、さまざまな方法で画面に表示されます。画素欠陥には2つのカテゴリーがあり、各カテゴリーにはいくつかの種類のサブ画素欠陥があります。

明るいドット欠陥

明るいドット欠陥は、常時点灯または「オン」になっている画素またはサブ画素として表されます。つまり、明るいドットはディスプレイが暗いパターンを表示するとき画面で目に付くサブ画素です。以下に、明るいドット欠陥の種類を紹介し

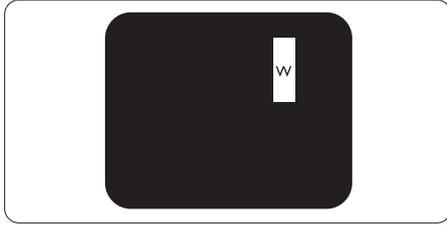


1つの点灯する赤、緑または青いサブ画素。



2つの隣接する点灯サブ画素：

- 赤 + 青 = 紫
- 赤 + 緑 = 黄
- 緑 + 青 = 青緑 (ライトブルー)



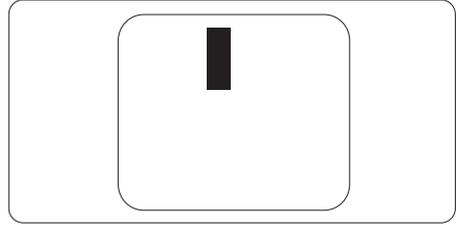
3つの隣接する点灯サブ画素(1つの白い画素)。

注

緑の明るいドットが近接したドットより30パーセント以上明るい場合、赤または青の明るいドットは近接するドットより50パーセント以上明るくなっている必要があります。

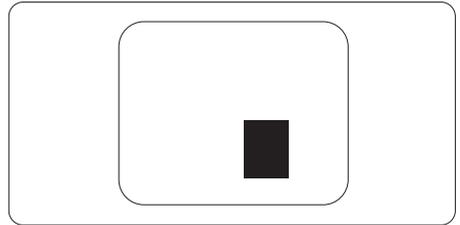
黒いドット欠陥

黒いドット欠陥は、常に暗いかまたは「オフ」になっている画素またはサブ画素として表されます。つまり、暗いドットはディスプレイが明るいパターンを表示するとき画面で目に付くサブ画素です。以下に、黒いドット欠陥の種類を紹介します。



画素欠陥の近接

互いに近くにある同じ種類の画素とサブ画素欠陥はととても目立つため、Philips では画素欠陥の近接の許容範囲についても指定しています。



画素欠陥の許容範囲

保証期間中に画素欠陥による修理または交換の資格を得るには、Philips フラットパネルディスプレイの TFT ディスプレイパネルに、次の表の一覧にある許容範囲を超えた画素またはサブ画素の欠陥がある必要があります。

明るいドット欠陥	受け入れられるレベル
1つの明るいサブ画素	2
2つの隣接する点灯サブ画素	0
3つの隣接する点灯サブ画素 (1つの白い画素)	0
すべての種類の明るいドット欠陥の総数	10
黒いドット欠陥	受け入れられるレベル
1つの暗いサブ画素	8つ以下
2つの隣接する暗いサブ画素	2つ以下
3つの隣接する暗いサブ画素	0
2つの黒いドット欠陥の間の距離 *	$\geq 20\text{mm}$
すべての種類の黒いドット欠陥の総数	10つ以下
ドット欠陥の総数	受け入れられるレベル
すべての種類の明るいまたは黒いドット欠陥の総数	12つ以下

注

- 1つまたは2つの隣接するサブ画素欠陥 = 1つのドット欠陥
- このモニタは ISO9241-307 準拠です (ISO9241-307: 電子式画像表示に対するエルゴノミック要件、分析および準拠性テスト方法)
- ISO9241-307 は、以前は ISO13406 として知られていた基準の後継となります。ISO (国際標準化機構) による改訂日は次のとおりです: 2008-11-13.

6.2 カスタマサポートと保証

お客様の地域で有効な保証範囲の情報と追加サポート要件の詳細については、www.philips.com/support Web サイトにアクセスしてください。以下に一覧した最寄りの Philips カスタマケアセンターの番号にお問い合わせになることもできます。

注

フィリップスのウェブサイトのサポートページに掲載されている地域サービスホットラインの重要な情報マニュアルを参照してください。

7. トラブルシューティング & FAQ

7.1 トラブルシューティング

このページでは、ユーザーにより修正できる問題を扱っています。これらのソリューションを試みても問題が解決されない場合、Philips カスタマサポートにお問い合わせください。

1 よくある問題

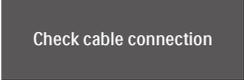
写真が表示されない(電源 LED が点灯しない)

- 電源コードがコンセントとディスプレイ背面に差し込まれていることを確認してください。
- まず、ディスプレイ前面の電源ボタンがオフ位置にあることを確認してから、オン位置まで押します。

写真が表示されない(電源 LED が白くなっている)

- コンピュータの電源がオンになっていることを確認してください。
- 信号ケーブルがコンピュータに適切に接続されていることを確認してください。
- ディスプレイケーブルのコネクタ側に曲がったピンがないことを確認してください。曲がったピンがあれば、ケーブルを修理するか交換してください。
- 省エネ機能がアクティブになっている可能性があります。

画面に次のようなメッセージが表示される



Check cable connection

- ディスプレイケーブルがコンピュータに適切に接続されていることを確認してください。(また、クイックスタートガイドも参照してください)。

- ディスプレイケーブルに曲がったピンがないか確認してください。
- コンピュータの電源がオンになっていることを確認してください。

AUTO(自動) ボタンが機能しない

- 自動機能はVGA-Analog (VGAアナログ)モードでのみ適用可能です。結果が満足のゆくものでない場合、OSDメニューを通して手動調整を行うことができます。

注

Auto(自動) 機能は、DVI-Digital (DVI デジタル) 信号モードでは必要ないため適用されません。

煙やスパークの明らかな兆候がある

- いかなるトラブルシューティング手順の行わないでください
- 安全のため、直ちに主電源からディスプレイを外してください
- 直ちに、Philipsカスタマサポートに連絡してください。

2 画像の問題

画像が中央に表示されない

- OSDメインコントロールで「Auto」(自動)機能を使用して、画像位置を調整してください。
- OSDメインコントロールでSetup(セットアップ)のPhase(フェーズ)/Clock(クロック)を使用して、画像位置を調整してください。これは、VGAモードでしか有効になりません。

画像が画面で揺れる

- 信号ケーブルがグラフィックスボードやPCにしっかり、適切に接続されていることを確認してください。

垂直フリッカが表示される



7.トラブルシューティング & FAQ

- OSDメインコントロールで「Auto」(自動)機能を使用して、画像を調整してください。
- OSDメインコントロールでSetup(セットアップ)のPhase(フェーズ)/Clock(クロック)を使用して、垂直バーを除去してください。これは、VGAモードでしか有効になりません。

水平フリッカーが表示される



- OSDメインコントロールで「Auto」(自動)機能を使用して、画像を調整してください。
- OSDメインコントロールでSetup(セットアップ)のPhase(フェーズ)/Clock(クロック)を使用して、垂直バーを除去してください。これは、VGAモードでしか有効になりません。

画像がぼやけたり、不明瞭に、または暗く見える

- オンスクリーンディスプレイでコントラストと輝度を調整してください。

電源がオフになった後でも、「後イメージ」、「焼き付き」または「ゴースト像」が残る。

- 長時間静止画像を表示すると、画面に「焼き付き」、「後イメージ」または「ゴースト像」が表示される原因となります。「焼き付き」、「後イメージ」または「ゴースト像」はLCDパネル技術ではよく知られた現象です。ほとんどの場合、電源をオフにすると「焼き付き」、「後イメージ」、「ゴースト像」は時間とともに徐々に消えます。
- ディスプレイの前を離れるときは、常にスクリーンセーバーをオンにしてください。
- LCDディスプレイで変化しない静止コンテンツを表示する場合には、常に定期的にスクリーンリフレッシュアプリケーションを起動してください。

- スクリーンセーバーやスクリーンリフレッシュアプリケーションをアクティブにしないと、「焼き付き」、「後イメージ」、「ゴースト像」症状はひどくなり、消えることも修理することもできなくなります。これらに起因する故障は保証には含まれません。

画像が歪んで表示される。テキストが不鮮明である、またはぼやけて見える。

- PCのディスプレイ解像度をディスプレイの推奨される画面のネイティブ解像度と同じモードに設定してください。

緑、赤、青、暗い、白いドットが画面に表示される

- ドットが消えずに残るのは今日の技術で使われる液晶の通常の特徴です。詳細については、画素ポリシーを参照してください。

「電源オン」ライトが強すぎて、邪魔になる

- OSDのメインコントロールの電源LEDセットアップを使用して、「電源オン」ライトを調整できます。

詳細については、Philips カスタマサポートにお問い合わせください。

7.2 一般FAQ

Q1: ディスプレイを取り付けるとき、画面に「Cannot display this video mode」(このビデオモードを表示できません)というメッセージが表示された場合、どうすればいいのですか?

回答: このディスプレイの推奨される解像度: 3840 x 2160 @ 60 Hz

- すべてのケーブルを抜き、PCを以前使用していたディスプレイに接続します。
- WindowsのStart(スタート)メニューで、Settings(設定)/Control Panel(コントロールパネル)を選択します。コントロールパネル/パネルウィンドウで、画面アイコンを選択します。Display(画面)のコントロールパネル内部で、「Settings」(設定)タブを選択します。設定タブの下

の「Desktop Area」(デスクトップ領域)とラベルされたボックスで、スライダを3840 x 2160画素に動かします。

- 「Advanced Properties」(詳細プロパティ)を開き、Refresh Rate(リフレッシュレート)を60 Hzに設定し、OKをクリックします。
- コンピュータを再起動し、2と3の手順を繰り返してPCが3840 x 2160 @ 60 Hzに設定されていることを確認します。
- コンピュータを停止し、古いディスプレイを取り外し、Philips LCDディスプレイを再接続します。
- ディスプレイの電源をオンにしてから、PCの電源をオンにします。

Q2: LCD ディスプレイの推奨リフレッシュレートは何ですか？

回答: LCD モニタの推奨されるリフレッシュレートは 60 Hz です。画面が乱れた場合、75 Hz まで設定して乱れが消えることを確認できます。

Q3: ユーザーマニュアルの .inf と .icm ファイルは何のためのものですか？ドライバ(.inf と .icm) はどのようにインストールできますか？

回答: これらは、ディスプレイ用のドライバーファイルです。ユーザーマニュアルの指示に従って、ドライバをインストールしてください。ディスプレイを初めてインストールするとき、ディスプレイドライバー (.inf と .icm ファイル) またはドライバーディスクを求められます。

Q4: 解像度はどのように調整すればいいのですか？

回答: ビデオカード / グラフィックドライバーとディスプレイは組み合わさって、使用可能な解像度を決定します。Windows® のコントロールパネルの「Display properties (画面のプロパティ)」でお好みの解像度を選択することができます。

Q5: OSD を通してディスプレイを調整しているときに忘れた場合、どうなりますか？

答え: OK ボタンを押し、次に「Reset(リセット)」を選択してすべての工場出荷時設定に戻します。

Q6: LCD 画面はきつつき傷への耐久性がありますか？

回答: 一般に、パネル面に過度の衝撃を与えず、鋭いまたは先の尖った物体から保護するようにお勧めします。ディスプレイを取り扱っているとき、パネルの表面に圧力や力がかかっていることを確認してください。保証条件に影響が及ぶ可能性があります。

Q7: LCD 表面はどのようにして洗浄すればいいのですか？

回答: 通常洗浄の場合、きれいで、柔らかい布を使用してください。洗浄する場合、イソプロピルアルコールを使用してください。エチルアルコール、エタノール、アセトン、ヘキサンなどの溶剤を使用しないでください。

Q8: ディスプレイの色設定を変更できますか？

回答: はい、OSD コントロールを介して、次の手順で色設定を変更できます。

- 「OK」を押してOSD(オンスクリーンディスプレイ)メニューを表示します
- 「下矢印」を押してオプション「Color(色)」を選択し、「OK」を押して色設定に入ります。以下のように、3つの設定があります。

1. Color Temperature(色温度) : Native, 5000K, 6500K, 7500K, 8200K, 9300K, 11500K の 6 つの設定があります。5000K 範囲で設定されている場合、パネルには「温かい、赤 - 白色調」と、また 11500K 温度範囲では、「冷たい青 - 白色調」というメッセージが表示されます。

2. sRGB: これは、異なるデバイス(例えば、デジタルカメラ、ディスプレイ、プリンター、スキャナーなど)間で、正しい色の変換を確保するための標準的な設定です。
3. User Define(ユーザー定義): ユーザーは赤、緑、青色を調整することで、お気に入りの色設定を変更できます。

注

加熱されている間、物体によって放射された光の色の測定。この測定は、絶対温度目盛り(ケルビン度)によって表されます。2004Kなど低いケルビン温度は赤で、9300Kなどの高い温度は青です。6504Kでの中間温度は、白です。

Q9: LCD ディスプレイを PC、ワークステーション、Mac に接続できますか?

回答: はい、できます。すべての Philips LCD ディスプレイは、標準の PC、Mac、ワークステーションに完全に対応しています。Mac システムにディスプレイを接続するには、ケーブルアダプタが必要です。詳細については、Philips 販売店にお尋ねください。

Q10: Philips LCD ディスプレイはプラグアンドプレイ対応ですか?

答え: はい。ディスプレイは Windows 10/8.1/8/7 とプラグアンドプレイ互換です。

Q11: LCD パネルの画像固着、または画像焼き付き、後イメージ、ゴースト像とは何ですか?

回答: 長時間静止画像を表示すると、画面に「後イメージ」または「ゴースト像」として知られる「焼き付き」が表示される原因となります。「焼き付き」、「後イメージ」または「ゴースト像」は LCD パネル技術ではよく知られた現象です。ほとんどの場合、電源をオフにすると「焼き付き」「後イメージ」「ゴースト像」は時間とともに徐々に消えます。

ディスプレイの前を離れるときは、常にスクリーンセーバーをオンにしてください。

LCD ディスプレイで変化しない静止コンテンツを表示する場合には、常に定期的にスクリーンリフレッシュアプリケーションを起動してください。

警告

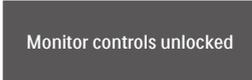
スクリーンセーバーやスクリーンリフレッシュアプリケーションをアクティブにしないと、「焼き付き」、「後イメージ」、「ゴースト像」症状はひどくなり、消えることも修理することもできなくなります。これらに起因する故障は保証には含まれません。

Q12: 私のディスプレイがシャープなテキストを表示せず、ぎざぎざのある文字を表示するのはなぜですか?

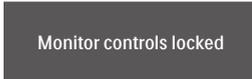
回答: お使いの LCD ディスプレイは 3840 x 2160 @ 60 Hz のネイティブ解像度で最高の機能を発揮します。もっとも望ましい画像を表示するには、この解像度を使用してください。

Q13: ホットキーをロック解除 / ロックする方法は?

回答: /OK を 10 秒間押してホットキーをロック解除 / ロックします。これにより、モニターには「Attention(注意)」のメッセージが現れ、下図のようにロック解除 / ロックのステータスを表示します。



Monitor controls unlocked



Monitor controls locked

Q14: フォントが不明瞭なのはなぜですか?

回答: 21 ページの手順で改善してください。

Q15: “USB タイプ C” コネクタを経由でノートブックからこのディスプレイに投射しても、何も映りませんか？

回答: このディスプレイの USB C ポートは、電力、データ、ビデオを送受信できます。お使いのノートブック / デバイスの USB タイプ C コネクタがデータ転送に対応していることと、ビデオ出力の DP ALT モードに対応していることをご確認ください。送信 / 受信を有効にするには、ノートブックの BIOS やその他のソフトウェアの組み合わせを介して機能を有効にする必要があるかどうかをご確認ください。

Q16: このモニターは USB タイプ C ポートからノートブックを充電しません？

回答: このディスプレイの USB C ポートは、ノートブック / デバイスに充電するための電力を出力できます。ただし、一部のノートブック / デバイスは USB タイプ C ポートからの充電に対応していません。お使いのノートブック / デバイスに充電機能があるかご確認ください。USB タイプ C ポートが備わっていても、データの送信機能に限られている場合があります。お使いのノートブック / デバイスが USB タイプ C ポートからの充電に対応している場合、必要であれば、システムの BIOS からその機能を有効にしてください。BIOS ではなく、いくつかのソフトウェアから有効にする場合もあります。お使いのノートブック / デバイスによっては、そのブランドが指定する充電機器を使用しなければならない場合があります。その場合、Philips USB タイプ C の充電機能を認識せず、ブロックすることがあります。それは Philips ディスプレイの問題ではありません。お使いのノートブック / デバイスの取扱説明書をお読みになるか、メーカーにお問い合わせください。

7.3 Multiview FAQ

Q1: PIP サブウィンドウを拡大できますか？

回答: はい、できます。3 つのサイズから選択できます。[Small](小)、[Middle](中)、[Large](大)。☰を押して OSD メニューに入ることができます。[PiP / PbP] メインメニューから優先する [PiP Size](PiP サイズ) オプションを選択してください。

Q2: ビデオから独立して、オーディオを聴くにはどうすればいいのですか？

回答: 通常、オーディオソースはメインのピクチャソースにリンクされています。オーディオソースの入力を変更したい場合(例:ビデオソース入力には関わりなく独立して MP3 プレーヤーを聴く)、☰を押して OSD メニューに入ることができます。[Audio](オーディオ) メインメニューからお気に入りの [Audio Source](オーディオソース) オプションを選択してください。

ディスプレイを次にオンにするとき、ディスプレイはデフォルトで最後に選択されたオーディオソースを選択します。これを再び変更したい場合、上のステップを行ってお気に入りのオーディオソースを新しく選択して「デフォルト」モードにする必要があります。

Q3: PIP/PBP を有効にすると、サブウィンドウがちらつくのはなぜですか？

回答: サブウィンドウのビデオソースが i-timing(interlace timing/ インターレースタイミング) になっているためです。サブウィンドウの信号ソースを P-timing(progressive timing/ プログレシブタイミング) に変更してください。



© 2018 Koninklijke Philips N.V. All rights reserved.

本製品はTop Victory Investments Ltd.またはその関連企業により製造され、市場に届けられたか、Top Victory Investments Ltd.またはその関連企業に代わって製造され、市場に届けられたものです。Top Victory Investments Ltd.は、本製品に関して保証人となります。PhilipsとPhilipsの紋章はKoninklijke Philips N.V.の登録商標であり、ライセンス契約の下で使用されています。

仕様は、事前の通知なしに変更することがあります。

バージョン：436M6VBEIT